

平成 2 1 年 3 月 2 1 日

江差線 五稜郭駅～七重浜駅間におけるレール破断について

- 1 . 発生日時 平成 2 1 年 3 月 2 1 日(土) 4 時 5 8 分頃
- 2 . 発生場所 江差線 五稜郭駅～七重浜駅間 0 k 9 5 0 m 付近
- 3 . 概 況 4 時 5 8 分頃に江差線、五稜郭駅～七重浜駅間で軌道短絡が発生したため、5 時 3 0 分頃より現地の点検を開始しました。その結果、線路に異常が認められなかったことから、6 時 0 3 分に運転を再開しました。しかし、軌道短絡の原因が特定できないため継続して調査を行っていたところ、8 時 3 3 分にレール（五稜郭駅より木古内方面に向って左側）が破断しているのを発見しました。そのため、列車の運転を見合わせて、継目板取付けによる処置を行い、9 時 3 8 分に所定速度で運転を再開しました。
- 4 . 原 因 ロングレールの伸縮継目部（溶接部）に列車の繰り返し荷重により破断に至ったと思われませんが詳細は調査中です。
- 5 . 付 記
 - (1) レール種別は 5 0 N ロングレール（延長は 4 , 8 2 4 m）です。
 - (2) 破断箇所は伸縮継目とロングレールの接合部です。
*伸縮継目とは、温度変化により伸縮運動を繰り返すために、この伸縮性を処理するため、ロングレール端部に敷設する特殊な装置のことをいいます。
 - (3) レールの製造年は 1 9 8 5 年 1 1 月、敷設年は 1 9 8 6 年 8 月です。
 - (4) レール溶接部はガス圧接方式であり、施工は 1 9 8 6 年 8 月です。
 - (5) レール破断発見時の開口量は 7 0 mm です。
 - (6) 本日の夜間帯において、復旧作業を実施します。
- 6 . 輸送への影響
 - (1) 影響列車 2 1 本（旅客列車 8 本、貨物列車 1 2 本、回送列車 1 本）
 - (2) 影響人員 1 , 6 0 0 人
- 7 . 緊急の取り組み
今回と同時期に施工したガス圧接溶接箇所（ 1 1 7 箇所）の緊急点検を実施します。
*原因の究明につきましては、鉄道総合技術研究所に調査を依頼します。